

## 出前講座 「北上川の水害と防災」

- 開催日時：平成26年5月7日（水）15時30分から16時30分
- 開催場所：北上川学習交流館「あいぽーと」
- 参加者：放送大学学生33名

国土交通省岩手河川国道事務所では、総合的な学習の一環として出前講座を開催しております。

平成26年5月7日（水）、埼玉県さいたま市にある放送大学埼玉学習センターの学生及び職員の33名が出前講座に参加され、北上川学習交流館「あいぽーと」で開催しました。

講師の調査第一課山影課長から北上川についての概要や昭和22・23年に一関地域を襲った「カスリン・アイオン台風」での一関地域が受けた被害の様子や過去に起こった大洪水の状況、また水害常襲地帯である一関地域の洪水対策として、一関遊水地事業の果たす目的や役割などについて説明がありました。併せて、平成20年6月に発生した「岩手・宮城内陸地震」により発生した磐井川上流の土砂崩落についても、砂防事業の説明を交えて紹介しました。

一関出張所加藤所長からは、北上川学習交流館「あいぽーと」の説明と、交流館内の北上川流域マップや展望台、Xバンドレーダー等を案内し、紹介しました。

参加者は北上川流域マップを食い入るように見つめ、東日本大震災で津波がどのように遡上したのか熱心に説明を聞いていました。また「洪水になった場合、遊水地の作物は大丈夫なのか」とか「カスリン・アイオン台風での一関以外の被害状況」、「Xバンドレーダーをもっと増やせないのか」などの質問があり、関心の高さが伺えました。

今日の出前講座では、一関遊水地事業を始めとした洪水対策により一関地域がどのように守られているのかを知ることができ、参加者の皆様は有意義な時間を過ごした様子でした。



調査第一課山影課長による概要説明



熱心に聞く放送大学学生の皆様



一関出張所加藤所長による北上川流域マップの説明



展望台から遊水地全景、Xバンドレーダーを説明